

## 第2回オンライン自主研修 感想・意見

令和3年5月22日  
東灘区保護司会広報部会、研修部会  
(担当) ホームページ担当 和田道夫

# 東灘区保護司会

## 第2回オンライン自主研修のご案内

【教材】 指定日時のみ視聴可 各自事前申込

更生保護法人 日本更生保護協会主催

令和3年4月15日発行  
月刊「更生保護」第72巻第4号付録

更生保護法人 日本更生保護協会主催

## オンライン講演会を開催します

更生保護法人日本更生保護協会では、今般の新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け、本年度もオンライン講演会を、YouTubeで配信します。インターネットが繋がっていれば、初めての方でも簡単に受講できますので、ぜひお気軽にご参加ください!

第3回

### 6月3日(木) 14:00~16:00(予定)

※1回限りの配信です。

参加  
無料

**親と子の愛着形成**  
—愛着障害がこころに与える影響—

親と子どもの愛着形成が阻害される背景に愛着は、子どもの安心感・安全感と密接に結びつき、不安定さや自分や他者に対する攻撃性などの愛着障害が、子どものこころと行動に与える影響が大きい。

**講師 宮本 隆**  
筑波大学心身障害者特別支援教育研究センター 2年4月より同大学専任、発達行動学「保護観察のためのQ&A」監修

◆申込方法◆ 申込締切り：5月21日(金)

- ・事前申込制です。
- ・以下のURLにアクセスいただき、QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取っていただき、申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。
- ・URL: <https://kouseihogo-kouenkai.jp/>
- ・日本更生保護協会のホームページからも申し込みます。

日本更生保護協会 お知らせ

- ・申込受付後は、①「事前申込を受付しました」と自動返信メールが送信されます。
- ②5月26日以降、申込時に入力いただいたメールアドレスに、講演会を視聴するためのURLをお送りします。
- ・入力メールアドレスに誤りがあると、URLを送信できません。参加用URLが必要な場合は、申込時のメールアドレスをご確認の上、事務局までご連絡ください。
- ③開催日時に、①の各URLをクリックすると、講演会を視聴できます。

なお、第3回は指定日時のみ配信となりますので、ご注意ください。

【自主研修の要領】

ご覧になった感想、意見を100字以上にまとめて  
[hogoshikai11874@gmail.com](mailto:hogoshikai11874@gmail.com)  
に「所属支部」「氏名」「視聴月日」を記入してメールください。(支部長による代行メールでも結構です)

送付期限は令和3年6月16日(水)です。(期限遵守と100字以上の感想・意見は必須です)

① ベトナムから参加しました。

今回のセミナーでは、愛着障害という観点から、犯罪背景と対応について整理された形でわかりやすかった。普段見落としがちで、4つの要素という観点から対象者と寄り添うことができれば、相互理解に有効だと感じた。

② 『親と子の愛着形成』 を視聴して

今回の講演では、いままで当たり前のこととして分かっていると、その気になっている問題について改めて考えさせられ、また正確な知識を学ぶことによって、今後の保護司としての活動に生かせるものになると思う。しかし、内容をもっと深く複雑なものであると思うし、今回の講演のようにさっと流しただけでは完全に消化できるものではないと思う。表面をなぞった知識だけで、対象者に接する時の技術に使うのは逆に危険な感じがす

る。私としては、知識は大事であるが、自分をさらけ出して対象者に正直に真剣に向き合うことが大事かなと思う。

過去に愛着形成がうまくできなかった人に対して、数回の面談だけではとうていその問題が解決するとは思えないが、愛着問題を考慮することは相手を理解するためには役に立つ。理解や共感したうえで、何か立ち直るためのヒントを与えられたらと思う。安全は環境であるが、安心は心の問題である。対象者と向き合う中で一つでもヒントを感じ取ってくれたらと思う。ただ、まだ対象者を持ったことがないので実際は全くわかりません。

※仕事中に手を止めながらの視聴は難しいものがあります

③ 前回のオンライン研修に引き続き、宮本先生のご講演は、具体例も多くあげて頂き分かりやすく興味の引くお話でした。

保護司として対応をする際に、非行や犯罪の一つの原因となり得る心の問題を理解する事は有意義だと思います。

発達障害については、仕事や日常生活で触れることは多いのですが、「愛着障害」というのは初めて耳にしました。

発達障害は脳の機能面の病気と言われていますが、「愛着障害」は「親と子の心のつながり」で後天的なものだと理解できました。

また、「愛着障害」が虐待へと結びつき、非行・犯罪に繋がっていくことも理解できました。保護司活動の中で、このような対象者に会うこともありますので、今日の研修を頭に入れておきたいと思います。

私的な事ですが、自分の子どもへの対応や娘の孫に対する態度は問題ないかなど、色々と考えさせられる機会ともなりました。

#### ④オンライン講演会

「親と子の愛着形成ー愛着障害がこころと行動に与える影響」に参加して

「なぜ、こんなことをするのか」ということは、誰でも聞いてみたくなるし、「行動には理由があるはずだ」と考えてしまう。しかし、当の本人でさえ、その理由がわからず、「なぜ、こんなことをしてしまったのか」ということに答えられない人がいることを知る事ができました。そして、その行動も、自分自身の責任だけでなく、他者からの虐待、ネグレクトが要因となっている事でもあります。

表面的な行動、表現だけでは、人を測る事はできず、特に問題行動と言われる行動をしてしまう人に関しては、特に時間をかけて、心の内側にふれるような対話をする必要があると感じました。

最後のまとめにありましたが、「一定の知識を持つことは有用」というのはその通りであると思います。「知っている」ことは、相手を知るためにも、自分を守るためにも有益であると思います。このような講習会には、できるだけ参加し、研鑽を重ねて行きたいです。

⑤ 今回のオンライン講習を視聴し、社会で生きる1人の人間として、子どもをもつ親として、日々の何気ないかわかりがとて大事であること、その気づきが大事であることを感じました。

「愛着」の意義、愛着行動(子から親へ)、絆(親から子へ)、愛着形成の大切さとその問題による子どもの虐待と非行の関連の大きさを詳しく知ることができました。

「侵入」症状、「回避」症状、「解離」症状、等、難しい内容もありましたが、再度資料を読み返しながら、保護司としてのスキルアップにつなげたいと思います。

相手を理解してあげる気持ちをもって接すること、安心出来る気持ちと安全を感じることが出来る環境をつくることの大切さを学びました。

⑥ 前半はわかりやすく、丁寧はスライドで、ゆっくりと解説していただき、よく理解できましたが、後半のPTSDは難しく、なかなか、ついていけなかった。とはいえ、最後の

- ・被虐待体験のある人が犯罪を犯すのは
- ・最終的に目指すところ⇒安心感と安全感の回復が最も重要 とかく安心・安全とワンフレーズで使うが
- ・愛着問題を考慮することの重要性

の3つのスライドは今後忘れないようにしたいものです。